

しし此の不純なる裁判をハレキなる裁判となす故に
物者自身のみならずし如方よりいふと思ふ

事業の具に云こ

右の三四節

物の身につけし居るものは一として物者が無くしし出来ん
ものは既に全部物者が作らぬものゆゑすべしこの物は世界
の物物者如作らぬものある物の身体は物母さしかる
生れたらういその母は物物者の作らぬもの生れん
り物の身体は物物者如作らぬものと換言し出する
あらゆる知識の基礎も物物者如作らぬもの物物者如作らぬ
間 理益は其の物物者如作らぬものと換言し出する
しん 過がないと云ふ者は物物者の生産にほつて

生産ししもの山のいある身体も智識も全部世界の物
者如作らぬものゆゑ然かるる物物者の環境を
考ふるに作らぬ物は教員澤々な生徒をなし作らぬ
物物者は非心算なる生れをこしめることと云ふ現る
此にししものゆゑ然かるる物物者の如く社会改良の一
にはかるるを待たずしてありたる今の自動車を
用いたるすべしは物物者の作らぬもの自動車の如くは
交り有る階級級者如くが作らぬもの又流石の
作らぬ軍隊、た砲台銃、は流石を
用いたる今日の世界の富貴し文知海をすべしは
物物者自身の手をたはると同時に所在物たる物
ばならぬか之れか更しと云ふ物物者の生産物となし